

	ページ
アイサワ工業(株).....	41, 45, 52, 63
青木あすなろ建設(株).....	41, 45, 52
あおみ建設(株).....	41, 45, 52, 63
(株)浅沼組.....	41, 52
(株)新井組.....	41, 45, 52, 63
(株)安藤・間.....	41, 42, 45, 51, 52
岩田地崎建設(株).....	41, 52, 63
梅林建設(株).....	41, 45
(株)大林組.....	41, 45, 52
(株)大本組.....	41, 45, 52, 62, 63
(株)奥村組.....	9, 41, 45, 52, 63
鹿島建設(株).....	41, 45, 52
株木建設(株).....	41, 52
(株)クボタ.....	41
(株)熊谷組.....	41, 45, 52
(株)鴻池組.....	23, 41, 45, 52
五洋建設(株).....	41
佐藤工業(株).....	41, 45, 63
三幸建設工業(株).....	41
清水建設(株).....	41, 45, 52
大成建設(株).....	41, 45, 52, 62, 63
大日本土木(株).....	41, 45, 52
大豊建設(株).....	41, 45, 52, 66
(株)竹中土木.....	3, 41, 45, 52
TSUCHIYA(株).....	41, 72
鉄建建設(株).....	41, 45, 51, 52
東急建設(株).....	41, 44, 45, 52, 63
東洋建設(株).....	41, 45, 52, 63
戸田建設(株).....	41, 45, 52, 63
飛島建設(株).....	31, 41, 45, 52
西松建設(株).....	41, 45, 52
日東河川工業(株).....	41, 45, 52
日特建設(株).....	41, 45, 52
日本基礎技術(株).....	41, 45, 52
日本国土開発(株).....	41, 45, 63, 69
ピーエス・コンストラクション(株).....	41, 44, 45
(株)フジタ.....	41, 45, 52, 63
(株)北陽.....	41, 45, 52
(株)本間組.....	41, 45, 52
前田建設工業(株).....	41, 45, 52, 63, 64, 65
松尾建設(株).....	41
三井住友建設(株).....	41, 45, 52
みらい建設工業(株).....	41, 45, 52
りんかい日産建設(株).....	41, 45, 52, 63
若築建設(株).....	41, 45, 52, 63

土地改良

第329号

令和7年4月15日 発行

編集者／発行所

一般社団法人 土地改良建設協会
〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4
農業土木会館
TEL 03-3434-5961
FAX 03-3434-1006
<http://www.dokaikyo.or.jp/>

インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

デザイン・印刷 株式会社ひとみ

本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。



土地改良区って何？とならないように

特別対談「農業農村の課題と政治への期待」を拝読し、宮崎議員のコメント「いろんな方に農業・農村に関心をもってもらい、土地改良への理解を深め、応援団になっていただき努力を地道にやっていくことが、適正な農産物価格の理解促進にもつながる」が、特に心に刺さりました。土地改良費も生産コストの一つであり、家庭の食卓を預かる女性の理解を得るためにも、土地改良区に女性の視点を持つことは意義深く、女性の理事登用が有効な一手だと得心しました。女性組合員を急激に増やすことが難しい現場の実情があることにも配慮しつつ、引き続き、宮崎議員のご指導を仰ぎながら、不易流行の精神をもって地道な努力を重ねていきたいと思いました。

富山県 50代男性 地方公務員

日本農業の実力を活かす米の輸出事業と環境配慮活動への支援を読んで

近年では、生産者の努力と生産技術の向上により、全国各地で美味しいお米が食べられるようになりました。

そうした中、この記事に日本米の「高い、まずい、使いづらい。」との海外市場調査の評価報告を見つけ、大変衝撃を受けました。

確かに、精米は常温コンテナでの輸送では品質に悪影響を及ぼすため、生産者が精魂込めたコメが美味しい状態で届けられなく残念に思います。

この課題に対して、コメの生産から食卓へ提供する一連のシステムを輸出する掲載企業の細やかで日本企業らしい発想に、面白さと好感を持ちました。今後の取り組みに期待しています。

東京都 女性 団体職員

「日本農業の実力を活かす米の輸出事業と環境配慮活動の支援」を拝読させていただきました。米の国内消費が縮小するなか、

国では、輸出を主要政策の柱に据え、推進することとしています。米輸出のネックは価格だけとの思いがありましたが、それ以外にも色々課題があることがわかり大変勉強になりました。色々な業態がこれら課題に取り組み、米の輸出が促進され、日本の米農家が意欲的に米作りに取り組める時代が来ることを期待します。

岩手県 60代男性 地方公務員

輸出米が不評な原因が国内精米後に消費者に渡るまでの長期保存にあることなどを解明し、輸出国での精米設備設置や厨房機器の開発などを行い、品質向上による輸出拡大は、農機メーカー・クボタでなければできない対応策で流石です。中干しの7日延長でメタンを30%削減でき、これがJ-クレジットに認証されていることを始めて知りました。農家には非常に高い壁となる煩雑なクレジット認証への手続をクボタが手数料なしで代行し、さらに認証分を全額買い取る支援は実に素晴らしい取組です。QRコード動画からはJ-クレジット活動に挑戦した農家の生の声も聞こえます。まさしく近江商人の三方良しで、これぞ究極の営業活動もあると感銘しています。

埼玉県 70代男性

農業者の高齢化対策として農地を担い手に集積しているが、農地周りの草刈りや水廻り等は、担い手だけでは無理なところもあり、依然として貸し手側の所有者が行っていることが多い。水管理の苦労は軽減されず、むしろ複雑さが増しており、離農する原因の1つである。

法律の改正に伴い、地域計画や水土里ビジョンの作成など、地域で将来の農業計画を立て直す機運にある現在、大きな農業の変換点にある。

中干しの延長だけでなく直播栽培、水廻り等の作業を減らし、J-クレジットの取り組み、そして海外輸出への一連のスキームは農業生産力を維持するためにとても意義がある。

農業は国を守るだけでなく、世界に向けて大きな日本の宝である。

愛知県 40代男性 地方公務員

本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい(掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます。また、文意を変えない範囲で、当方の判断で文章の量を調整させていただきます)。

ご感想等を掲載させていただいた方には、毎回もれなく全国各地の名品を贈らせていただきます。次回掲載分については、「お米【玄米】5kg こしひかり 特別栽培米 減農薬・無化学肥料 福井県大野産」をご用意しております。[5月末日締切]

宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4

土地改良建設協会「くろすおーばー」係

メールアドレス jigyo@dokaikyo.or.jp

P R E S E N T

お米【玄米】5kg
こしひかり 特別栽培米 減農薬・
無化学肥料 福井県大野産

